令和８年 11 月 10 日

令和８年度

全国学力・学習状況調査結果報告

札幌市立啓明中学校

全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育の成果を検証することにより、学校における教育活動の充実や改善に役立てることを目的とした「全国学力・学習状況調査」が中学校３年生を対象に４月に行われ、国語、数学、英語の３教科と日常生活に関する質問紙調査結果の概要が先日、発表になりました。

生徒個人の調査結果については、本人及び保護者の皆様へ個人票を返却しておりますが、本校の結果と今後の指導改善の方向性についてお知らせいたします。

学力調査に関して

本校は、札幌市学校教育「子ども一人一人が『自分が大切にされている』と実感できる学校づくり」に学校教育目標、啓明中学校区の目指す子ども像「自分の意志を持ち、仲間とともに未来に向かって考え、行動する子」を踏まえ、今年度の実践目標「みんなが幸せになる学校づくり～学びの＜主人公＞として仲間とともに歩む生徒～」のもと、日々の実践に取り組んでいます。各教科においては、本校の研究主題である「自ら学び、ともに高め合い、共感し合う生徒の育成」を目指した授業づくりを行っています。課題を把握し仲間との交流しながら課題解決に向けて見通しをもって学習を進めていくために学習課題の設定を工夫し、ＩＣＴを効果的に活用しながら生徒が主体的に取り組めるよう授業を改善しているところです。

本校では、生徒全員が全ての教科・観点において「概ね満足できる状況」となることを重視しており、生徒一人一人が学習の定着を実感できるよう、教育相談やステップアップタイムにおいての学習方法の指導や、長期休業中の補充的な学習会や教科相談も継続しております。

今後も引き続き、御理解、御協力をよろしくお願いいたします。

学習状況調査に関して

国数英３教科の学力調査に加え、学習に対しての意識や取組の状況、学習を中心とした子どもを取り巻く環境に関しての質問紙調査が行われました。調査の内容は、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等の「生徒に対するもの」と、学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備等の「学校に対するもの」です。調査結果によると、本校ではそのほとんどにおいて肯定的な回答が全国・北海道の平均と同等か上回っており、学習や生活に対して高い意識をもっている生徒が多いことがわかりました。特に顕著な例を紹介いたします。

○「自分には、よいところがあると思いますか」の項目で、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

日々の活動の中で、自己肯定感や自己有用感をもって学校生活を送っていることがうかがえます。他にも、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」についても肯定的な回答が全国・全道平均を上回っています。今後も様々な活動の中で、互いのよさや可能性を認め合いながら、「自分が大切にされている」と実感できるような教育活動を進めていきたいと思います。

○「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目で、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

昨年度は全国・全道平均をやや下回っていた「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」についても、今年度は全国・全道平均を大きく上回る結果となりました。日々の生活において生徒の様子に注視し対話を大切にすることで、学校にいる大人との信頼関係を高め、生徒が安心して学校生活を送っていけるようサポートや見守りに力を入れていきたいと思います。

○「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成することができると思いますか」の項目で、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

関連した項目では、「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を整理することができると思いますか」「あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーションを作成することができると思いますか」についても肯定的な回答が全国・全道平均を上回っています。課題解決に向けた学習を進めていく中で、個々の学習内容や学習進度に合わせて ICT 機器を活用できるよう、今後も各教科や「総合的な学習の時間」等で工夫していきたいと思います。

○「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」の項目で、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

「総合的な学習の時間」では、様々な活動や体験の中で課題を見つけ、課題解決のために必要な情報を収集し、整理・分析して自分の考えをまとめることが大切です。各行事やキャリア学習等の活動の中で、仲間と交流しながら自他の意見や考えのよさを生かし、課題解決に向けて取り組んでいけるよう、今後も継続した学習展開を目指していきたいと思います。

○「数学の勉強は好きですか」「数学の授業の内容はよく分かりますか」の項目で、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

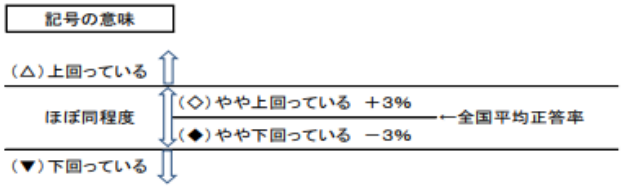
関連した項目では、「１、２年生のときに受けた授業では、数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えましたか」「１、２年生のときに受けた授業では、文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができましたか」についても肯定的な回答が全国・全道平均を上回っています。学力状況調査結果からは、「数と式」「図形」「関数」「データの活用」のすべての問題においても全国平均を上回っています。今後も統合的・発展的に考える、新たな性質を見いだす、変化や対応の様子を調べたり予測したりする等の学習活動の充実を図っていきたいと思います。

○「英語の勉強は得意ですか」「英語の勉強は好きですか」の項目で、肯定的な回答が全国・全道平均を大きく上回っています。

関連した項目では、「英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についても肯定的な回答が全国・全道平均を上回っています。今後も文章全体の要旨を捉える、必要な情報を判断し読み取る、理由や根拠の関係を明確にしながら内容を整理して書く等の学習活動の充実を図っていきたいと思います。

【中学校国語】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

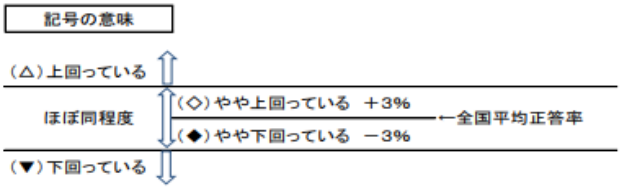
	本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
中学校　国語	【領域】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 △全国平均を上回っている。	●語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。	●国語辞典を活用しながら、様々な場面で文脈に即して語句を正しく用いて表現する学習活動の充実。
	「情報の扱い方に関する事項」 ◇全国平均をやや上回っている。	●情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	●聞いたり読んだりして得た情報を、図や絵、記号などを用いて整理することで、自分の思考を明確にする学習活動の充実。
	「話すこと・聞くこと」 △全国平均を上回っている。	●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。	●話し手の目的や状況を意識した上で、分からないことや知りたい情報に合わせて効果的に質問する学習活動の充実。
	「書くこと」 △全国平均を上回っている。	●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと。	●表現の工夫に着目し、書き手の目的や意図を踏まえて、より効果のある書き方を考える学習活動の充実。
	「読むこと」 △全国平均を上回っている。	●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	●目的を明確にした上で必要な情報を正確に捉えて要約する学習活動の充実。



【中学校数学】　教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

中学校　数学

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「数と式」 △全国平均を上回っている。	●総合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。	●多項式の各項を係数や文字の種類、次数などに着目して分類したり、文字の種類や次数が異なる文字の項どうしがまとめられない理由を考える学習活動の充実。
「図形」 △全国平均を上回っている。	●具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすこと。	●条件に基づいて実際に作図等の操作を行ったうえで、辺や角の関係を見いだす場面において、行った操作を振り返りながら直接分かることや証明すべき事柄を整理し、数学的に表現する学習活動の充実。
「関数」 △全国平均を上回っている。	●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。	●二つの数量の関係を捉えたうえで、解決のために表、式、グラフをどのように用いればよいか説明する学習活動の充実。
「データの活用」 △全国平均を上回っている。	●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること。	●箱ひげ図と度数分布多角形を関連付けながら、度数分布多角形の特徴を捉えたり、位置関係の違いから言えることを説明したりする学習活動の充実。



【中学校英語】 公開問題の結果から見る教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

	今回の調査における課題	改善の方向
中学校 英語	【領域】 「聞くこと」 ●日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えること。 「読むこと」 ●日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えること。 「話すこと」[やり取り] ●言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用すること。 「話すこと」[発表] ●社会的な話題に関して聞いたことについて、考えとその理由を話すこと。 「書くこと」 ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと。	●日常的な話題について、一語一語や一文一文の意味など特定の部分にのみとらわれることなく、時間の経過や話の展開を示す語句に着目し、話全体の流れや要旨を捉える学習活動の充実。 ●文章を読み、物語文では時間の経過や場面の変化に即して登場人物の行動や心情を捉え、説明文では段落ごとの話題や主な内容を段落間の関係に照らしてつなぎ合わせ、文章全体の内容を理解する学習活動の充実。 ●コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識して活動を行い、英語の音声や語彙、表現、文法の知識を話すことにおける実際のコミュニケーションにおいて活用する学習活動の充実。 ●社会的な話題に関して既習の表現などを駆使しながら、理由などとともに自分自身の考えや気持ちを聞き手に話す学習活動の充実。 ●日常的な話題について、内容を整理して自分の意見やその理由を書く学習活動の充実。